

第3章 街路樹再生プランの基本理念・基本方針



第3章 街路樹再生プランの基本理念・基本方針

1 街路樹再生の基本理念

本市の街路樹は、私達のまちとともに長い歴史を歩んできており、その豊かな緑は本市の風格を醸し出すとともに、日々の暮らしにうるおいと彩りを与える大切な存在です。街路樹が抱える様々な課題を解決しながら、これからもその豊かな緑の価値を守り、最大限に引き出すために、以下の考え方で街路樹の再生に取り組みます。



- ・鹿児島市が目指す姿や目標を実現するために、自然と都市との調和やうるおいと彩り豊かな緑の空間の創出を図ります。
- ・安全で美しい街路樹の空間を保つため、街路樹の質・量にメリハリをつけた整備とともに持続可能な維持管理を進めます。
- ・街路樹に対する親しみや愛着を抱けるように、「地域連携・教育連携」を深め、街路樹に関われる仕組を拡充します。
- ・世界的な気候変動が進む中、地球温暖化緩和機能をはじめとした様々な機能や効果を有する緑の快適環境を未来のこどもたちへつなぎます。

このような考え方で取り組む本市の街路樹再生の基本理念を以下に示します。

【基本理念】

**地域とともに 未来へつなぐ
彩り豊かで安全な 緑の空間の創出**





2 基本方針

本市の街路樹が抱える課題を踏まえ、本プランの基本理念の実現に向けた街路樹再生の基本方針と具体的な整備方針を以下のとおり定めます。

基本理念

基本方針

整備方針

地域とともに未来へつなぐ彩り豊かで安全な緑の空間の創出

基本方針 1 都市の骨格をなす街路樹の育成・魅力創出

街路樹の育成状況を良好に保つとともに、更に魅力的で居心地の良い空間の創出を図ります。



育成・魅力創出～道路との空間的な調和等による更なる魅力向上～

都市の骨格路線は、緑陰や景観を意識したきめ細やかな維持管理により、更なる景観美を高めるとともに、道路と街路樹の空間的な調和や緑の充実により、魅力的で居心地の良い空間の創出を図ります。

基本方針 2 安全で快適な街路樹への保全と更新

周辺のまちなみの状況や歩行空間に適した樹種への植替、安全性を考慮した適正配置などを行うとともに、適切な維持管理により、将来にわたって緑の快適環境を継承します。



植替～植替による安全性・快適性の向上～

路線全体で根による舗装の持ち上げや、生育不良となっている樹木が見られる路線等は、周辺のまちなみの状況や歩行空間に適した樹種への植替を行い、安全性や快適性の向上を図ります。

保全～適切な維持管理による緑の快適環境の保全～

現状で大きな問題がない路線は、適切な維持管理を継続し、樹木の健全性を確保するとともに、緑の快適環境を保全します。

基本方針 3 市民や事業者等との多彩な連携による街路樹の維持管理

市民等が街路樹に対する親しみや愛着を抱けるように、街路樹に関わる仕組を拡充します。



適正配置～適正配置による安全性の向上と健全な街路樹の育成～

街路樹により、局所的に歩行者の視認性が低下している路線や、局所的に生育不良が見られる路線等は、高木等の間引きにより、安全性の向上や健全な街路樹の育成を促進します。

撤去～街路樹の撤去による歩行者優先の安全な空間の確保～

街路樹の植栽により、歩行空間が狭められ、車椅子等の通行や歩行者同士のすれ違いに支障となっている路線は、街路樹を撤去し、歩行者優先の安全な空間を確保します。また、街路樹以外の緑量が確保されている路線も、街路樹を撤去し、質・量にメリハリをつけた持続可能な維持管理を進めます。

基本方針 4 気候変動の要因となる地球温暖化への対応

街路樹の植替によるCO₂吸収量の向上を図るとともに、植替等により緑陰が減少することから、ヒートアイランド対策効果を補完するための多面的な取組を検討します。

連携～市民や事業者等との連携による維持管理や愛着醸成～

街路樹の維持管理においては、引き続き、地域住民との連携を図るとともに、委任制度の拡充を検討します。また、教育委員会や関係団体等との連携を図りながら、街路樹を介した緑の空間への愛着を醸成する取組を検討します。

持続可能性～街路樹の植替等による地球温暖化対策への寄与～

成熟した街路樹から成長期の若い街路樹への植替により、CO₂吸収量の向上を図ります。さらに、植替や適正配置等により緑陰が減少することから、関係部局と協議・連携を図りながら舗装面温度を抑制する対策を検討します。